

上池 No.6【水確保以外】ワンド・エコトーンの創出（Ⅰ期）

広い範囲でまとまりのある湿性植物が生育し、小型魚類や水生昆虫、鳥類などの生息場となるワンド・エコトーンを創出する。

○前提

- ・空港施設と上池との間の公有地を利用する。
- ・上池の掘削と調整を図りながら進めるとともに、ワンドやエコトーンの高さや勾配は、モニタリングを行い、設定する。
- ・道路機能を保持する（C付近）。

○整備内容（配慮事項）

- ・エコトーン帯の高さは、平常時の上池水位+1.0m～+0.5mの範囲とする。法面勾配は、現況の河床や河岸勾配を参考にする。
- ・エコトーン帯は微地形を創出し、所々にたまりや湿地ができるようにする。
- ・ワンド周辺のエコトーン帯の一部をエキサイゼリの再生区域とする。
- ・ワンドは小型魚の生息に配慮し、水深50cm以下を目安とする。
- ・ワンドと池との接続部は、小型魚を捕食する大型魚の侵入を防止するために水深を小さくする。
- ・水際部の表土は掘削時に仮置きし、再利用することで、水際部植生の早期回復を図る。
- ・ヨシ原の創出により、オオヨシキリの繁殖、湿地環境を好むクイナ、オオバン、ベニマシコ等の他、カモ類の生息が期待できる。
- ・水生植物がある浅瀬等を好むギンブナ、ギバチ、メダカ等の生息が期待できる。
- ・湿地や湿生草地を好むエサキアメンボ、クマコオロギ、ネアカヨシヤンマ、ヒメアカネ等の生息が期待できる。

